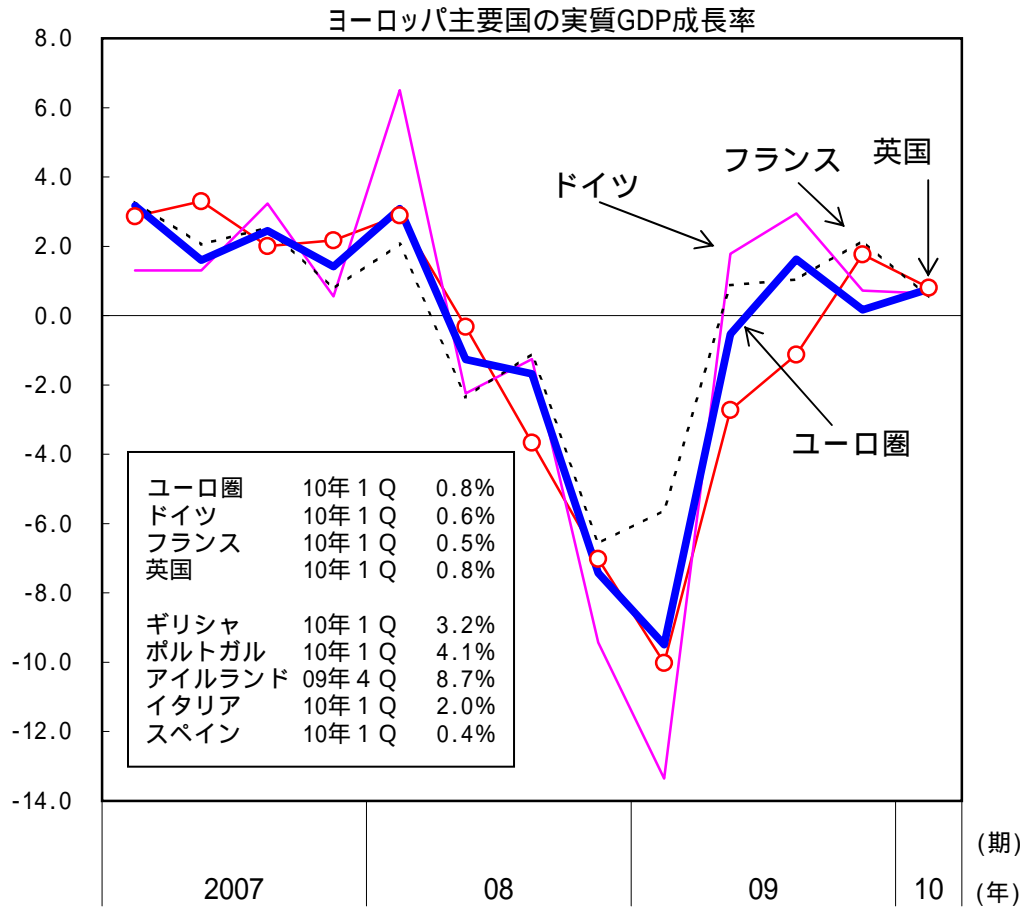


3. ヨーロッパ地域

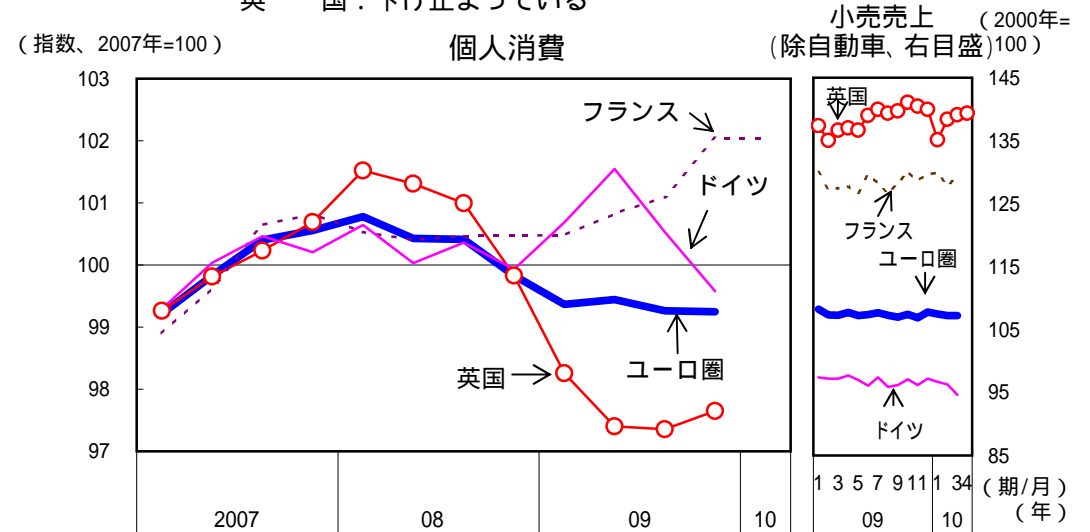
ヨーロッパ地域では、失業率が高水準であるなど引き続き深刻な状況にあるが、景気は下げ止まっている。
先行きについては、基調としては緩やかな持ち直しに向かうと見込まれる。
ただし、ギリシャ財政危機により、他のヨーロッパ諸国の財政状況やヨーロッパの金融システムに対する懸念が高まり、金融資本市場の変動が更に深刻化するリスクに留意する必要がある。また、新興国向け貸出の不良債権化による信用収縮や自動車買換え支援策の反動の広がり、雇用の悪化等により、景気が低迷を続けるリスクがある。

GDP ユーロ圏：2010年1-3月期は前期比年率 0.8%成長
 英国：2010年1-3月期は前期比年率 0.8%成長
 (前期比年率、%)



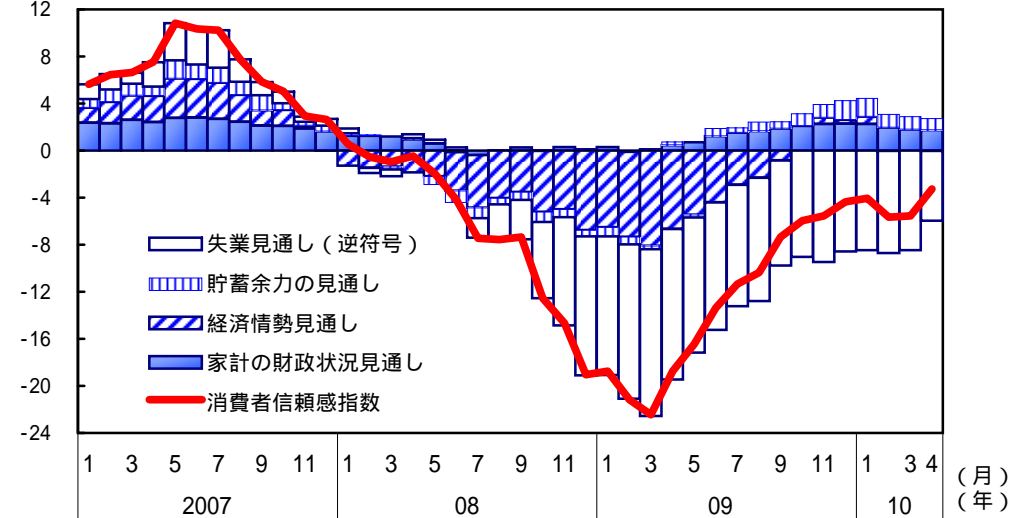
(備考)ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE(仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

個人消費 ユーロ圏：弱い動きとなっている
 (ドイツ：減少している)
 (フランス：このところ弱い動きとなっている)
 英国：下げ止まっている



(備考)ユーロ圏、ドイツ、英国は小売売上数量、フランスは工業製品家計消費支出。

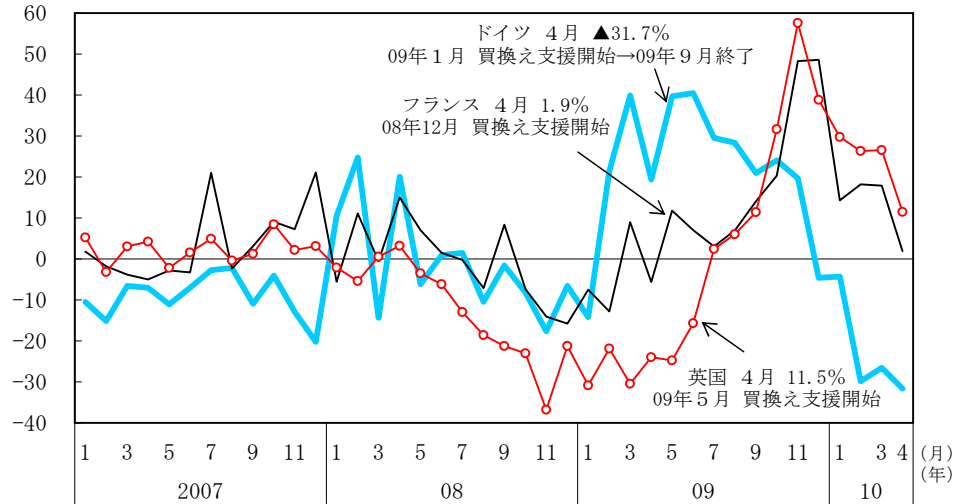
(D.I.、長期平均=0) 消費者信頼感指数(ユーロ圏)の改善は足踏み



(備考)欧州委員会より作成。今後1年間の見通しにつき尋ねたもの。

自動車登録台数
 (ドイツでは09年9月に、英国では10年3月に買換え支援策が終了、
 フランスでは、10年1月から買換え支援策を縮小)

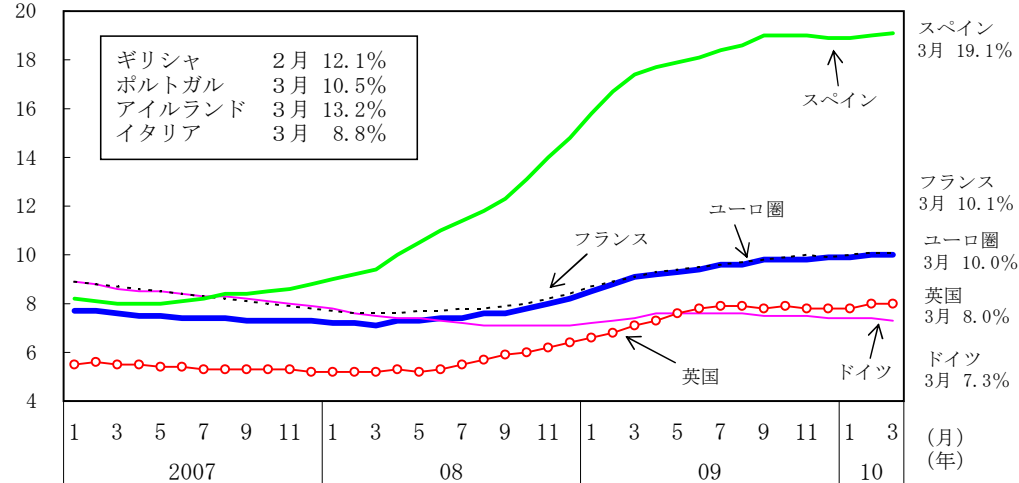
(前年同月比、%)



- (備考) 1. ドイツ自動車工業会 (VDA)、フランス自動車工業会 (CCFPA)、英国自動車工業会 (SMMT) より作成。
 2. ドイツ: 使用年数9年以上の車から一定のCO2排出基準を満たす環境対応車への買換えに、廃車料の一部として2,500ユーロ (約33万円) を補助。当初の枠は60万台であったが、09年4月8日には200万台に拡大。
 ※09年9月2日に申請件数が予算枠の上限に達したため、申請の受付を締め切った。
 フランス: 使用年数10年以上の車から環境対応車への買換えに1,000ユーロ (約13万円) を補助。
 ※補助額を10年1月1日より700ユーロに、同7月1日より500ユーロに減額して買換え支援を延長。
 英国: 使用年数10年以上の車から新車の買換えに2,000ポンド (約30万円) を補助。
 ※対象を拡大 (使用年数8年以上) し、予算も10万台分追加して計40万台に (10年3月まで)。
 3. 09年の自動車登録台数は、ドイツ381万台、フランス227万台、英国200万台。

③失業率は上昇
 (ドイツ、英国では、おおむね横ばい)

(%)

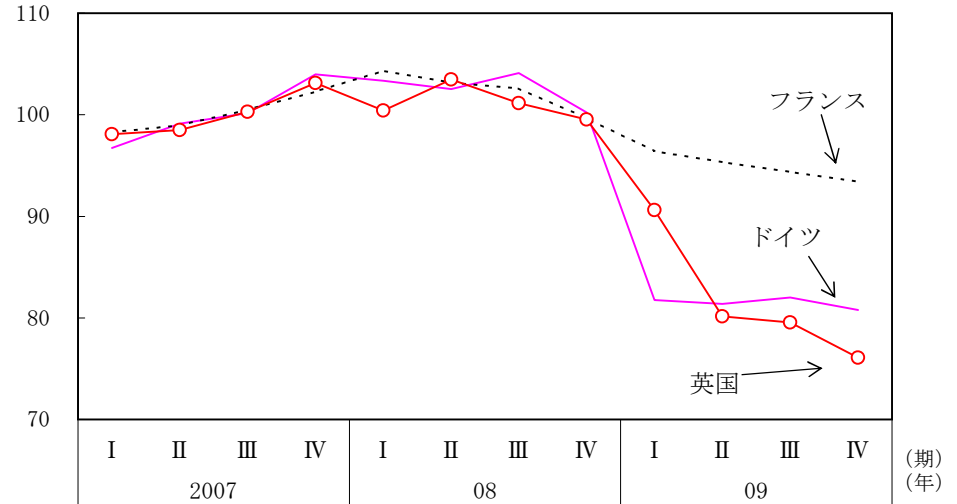


- (備考) 1. ユーロスタット (ユーロ圏、ドイツ、フランス、スペイン)、英国統計局、ギリシャ政府統計局より作成。
 2. ギリシャの数値は、原数値 (季節調整値ではない)。

④設備投資 ドイツ: 機械設備投資は下げ止まっている
 フランス: 設備投資は減少のテンポが緩やかになっている
 英国: 設備投資は減少幅が拡大している

(指数、2007年=100)

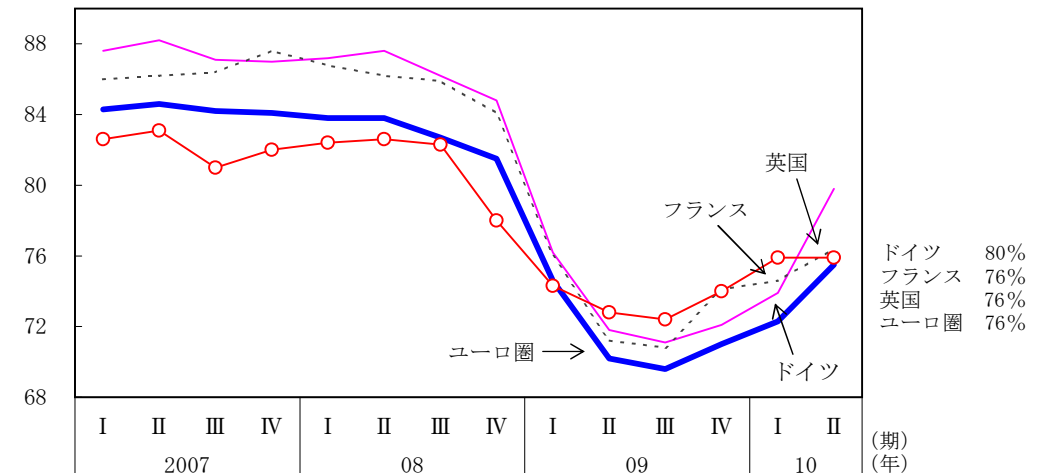
設備投資



- (備考) ドイツ連邦統計局、INSEE (仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

製造業設備稼働率は持ち直し

(%)

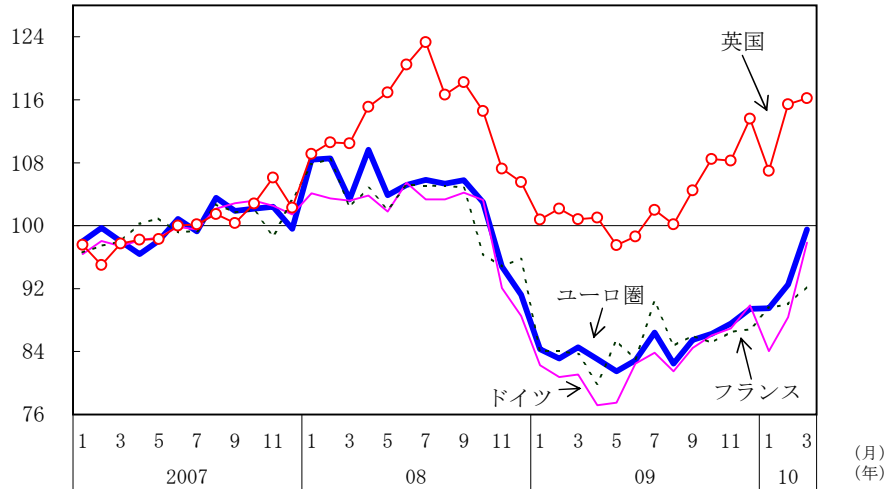


- (備考) 欧州委員会より作成。

⑤輸出 ユーロ圏：輸出は増加している
英 国：輸出は増加している

(指数、2007年=100)

輸出額

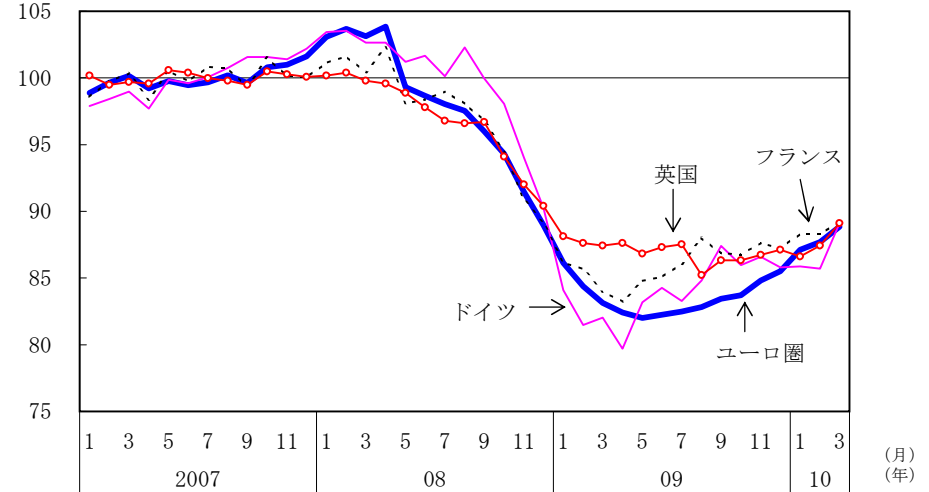


(備考) 1. ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE（仏国立統計経済研究所）、英国統計局より作成。
2. ユーロ建て及びポンド建てで輸出額を指数化したもの。

⑥生産 ユーロ圏：生産は持ち直している
英 国：このところ持ち直している

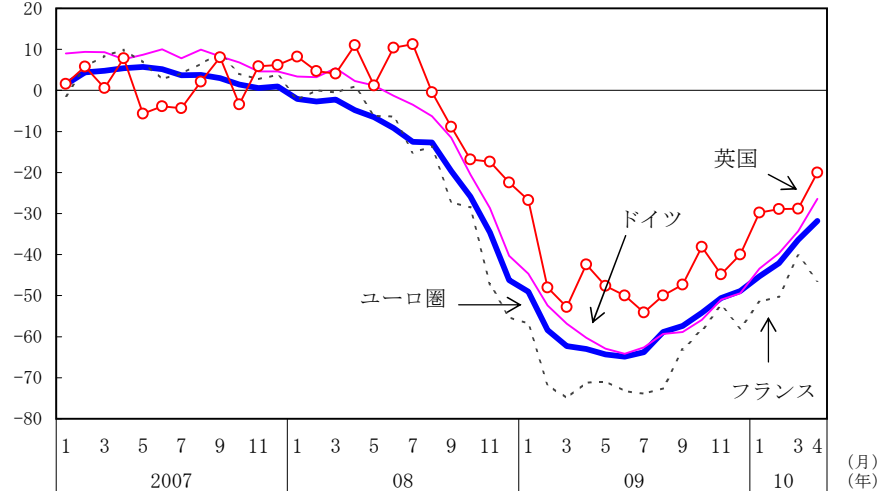
(指数、2007年=100)

鉱工業生産



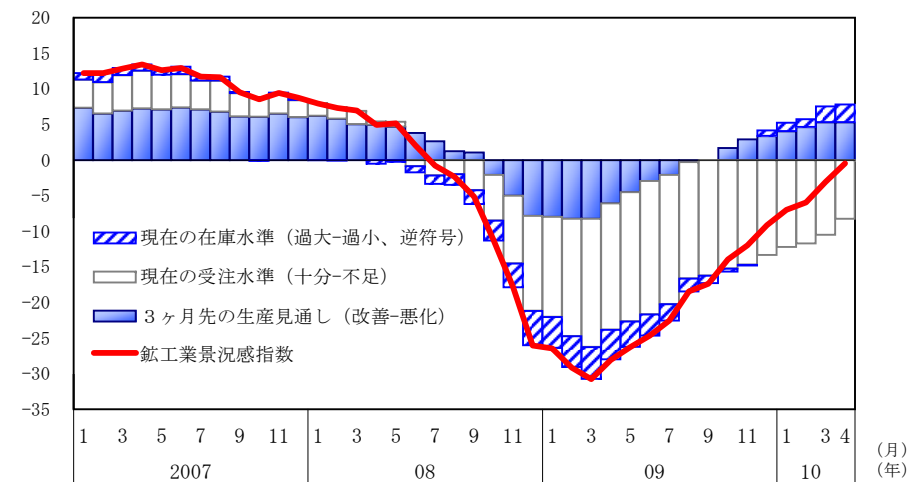
(備考) ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE（仏国立統計経済研究所）、英国統計局より作成。

(D. I.) 企業の輸出受注判断は持ち直し



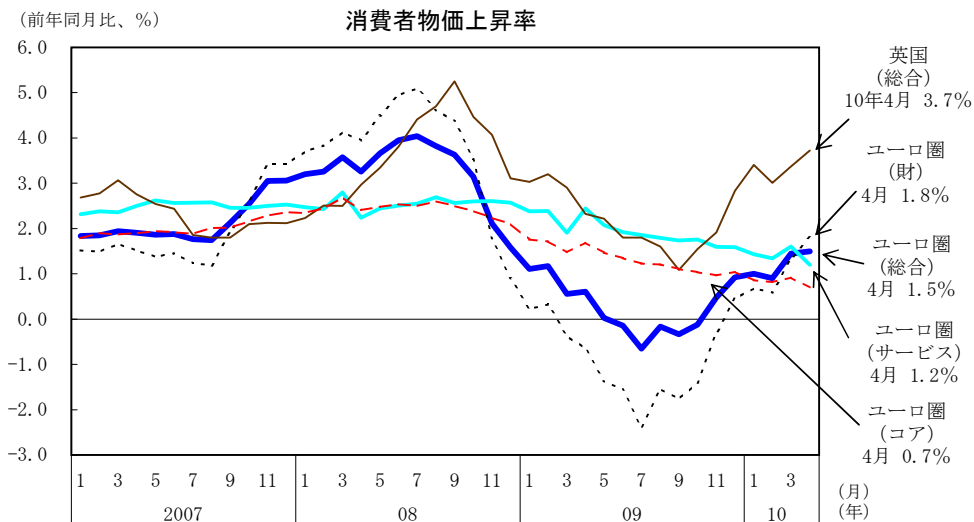
(備考) 1. 欧州委員会より作成。
2. 輸出受注：製造業部門の受注のうち国外分（輸向）の受注状況につき、「良い/普通/悪い」を尋ね、回答を「(良い-悪い)/総回答」で指数化したもの。ユーロ圏の指数は、構成国の各指数を加重平均。

(D. I.、長期平均=0) 鉱工業景況感指数（ユーロ圏）は持ち直し



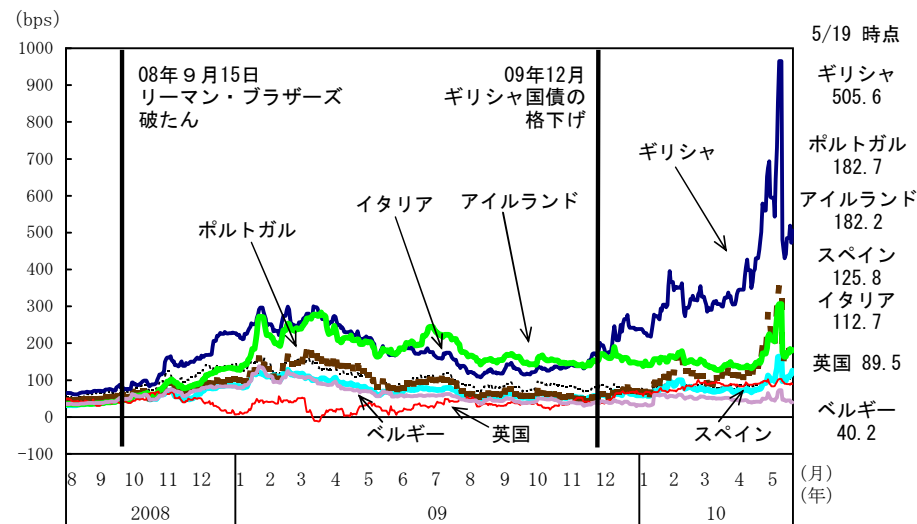
(備考) 欧州委員会より作成。

⑦物価 ユーロ圏：消費者物価上昇率はプラスで推移している
 英 国：付加価値税率引上げの影響もあり、
 消費者物価上昇率は高まっている



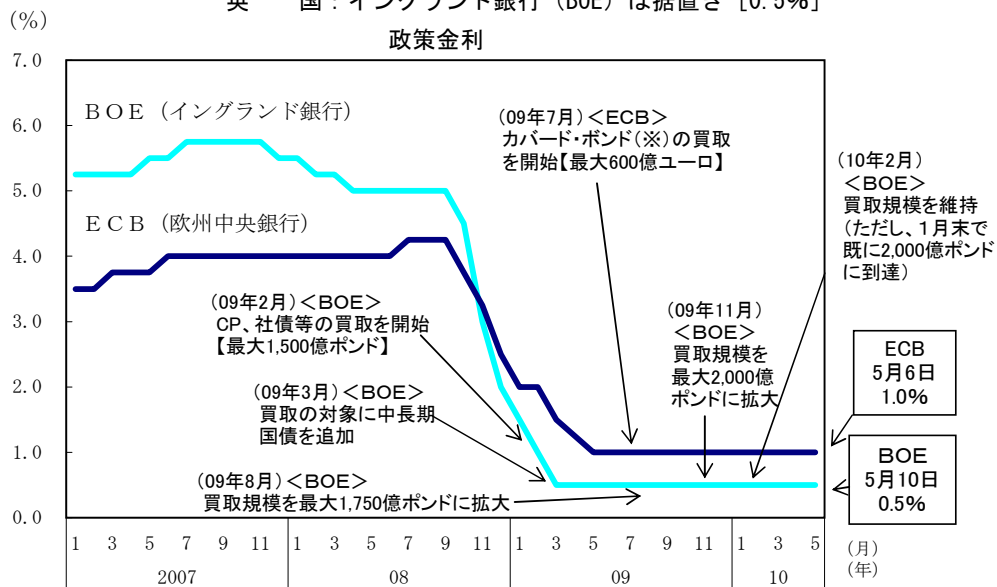
(備考) 1. ユーロスタット、英国統計局より作成。
 2. ECBのインフレ参照値は2%を下回りかつ2%近傍。BOEのインフレ目標は2%。
 3. ユーロ圏のコア消費者物価は、総合からエネルギー、生鮮食品を除いたもの。

⑨ドイツ国債（10年物）とのスプレッド



(備考) ブルームバーグより作成。

⑧政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行（ECB）は据置き [1.0%]
 英 国：イングランド銀行（BOE）は据置き [0.5%]



(備考) 1. 欧州中央銀行（ECB）、イングランド銀行（BOE）より作成。
 2. カバード・ボンドとは、金融機関が発行する担保付債券。不動産向けローンや公共セクター向けローン等を担保として発行されることが多い。

財政状況・格付け

〔 10年4月28日に、S & Pがスペイン国債の格付けを引下げ 〕

	主要格付け機関による格付け			一般政府財政 収支GDP比	一般政府債務 残高GDP比
	ムーディーズ	S&P	フィッチ	2009	2009
ポルトガル	Aa2	A-	AA-	▲ 9.4	76.8
イタリア	Aa2	A+	AA-	▲ 5.3	115.8
アイルランド	Aa1	AA	AA-	▲ 14.3	64.0
ギリシャ	A3	BB+	BBB-	▲ 13.6	115.1
スペイン	Aaa	AA	AAA	▲ 11.2	53.2
ベルギー	Aa1	AA+	AA+	▲ 6.0	96.7
英国	Aaa	AAA	AAA	▲ 11.5	68.1
ドイツ	Aaa	AAA	AAA	▲ 3.3	73.2
日本	Aa2	AA	AA-	▲ 7.4	189.3
アメリカ	Aaa	AAA	AAA	▲ 11.2	83.9

(備考) ブルームバーグ、欧州委員会、OECDより。

ギリシャ財政危機について

○1,100億ユーロの支援策

5月2日、ユーロ圏財務大臣会合において、ギリシャ政府からの要請を踏まえ、ユーロ圏参加国、ECB及びIMFは、ギリシャの財政再建を条件に、3年間で1,100億ユーロのギリシャ支援に合意。

(参考1) 1,100億ユーロの内訳：

ユーロ圏参加国が800億ユーロ、IMFによる融資が300億ユーロ

(参考2) 最初の融資は、85億ユーロ相当のギリシャ国債償還日である5月19日までに実施。ギリシャ政府は、IMFから55億ユーロ、ユーロ圏参加国から145億ユーロの合計200億ユーロを受け取り。

○ギリシャの財政危機：2014年までの5年間にGDP比11%の財政再建計画

	2009	2010	2011	2012	2013	2014
実質GDP成長率 (%)	▲ 2.0	▲ 4.0	▲ 2.6	1.1	2.1	2.1
一般政府財政収支GDP比 (%)	▲ 13.6	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 6.5	▲ 4.9	▲ 2.6
一般政府債務残高GDP比 (%)	115	133	145	149	149	144

(備考) ギリシャ政府、IMFより。

○7,500億ユーロの基金

5月9日、ECOFIN(経済財務相理事会)において、欧州金融安定化メカニズム(ユーロ圏安定基金)について、総額最大7,500億ユーロの支援を合意。

(参考1) ユーロ圏安定基金内訳(見込み)：

EU600億ユーロ、ユーロ圏参加国等による保証4,400億ユーロ、IMFによる2,500億ユーロ

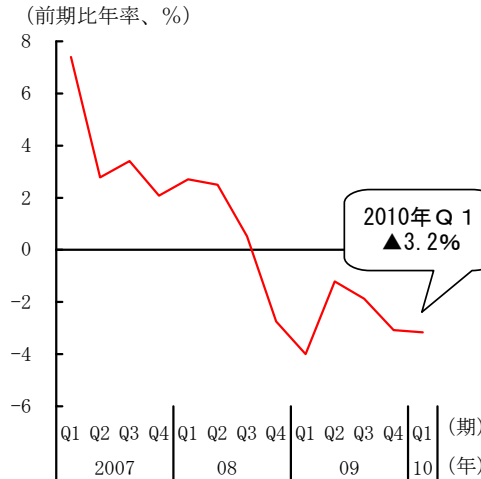
(参考2) 本件支援は、欧州条約第122条第2項に基づく財政支援となっており、IMF同様の厳格なコンディショナリティの下で融資を行うとしている。

○ECB(欧州中央銀行)による対応

5月10日、機能不全に陥った国債及び社債の流通市場介入を発表。

○5月10日、各国中央銀行(カナダ、英国、ECB、米国、スイス、日本)は、米ドルスワップ取極を再締結、米ドル資金供給オペレーションを実施。

○ギリシャの実質GDP成長率



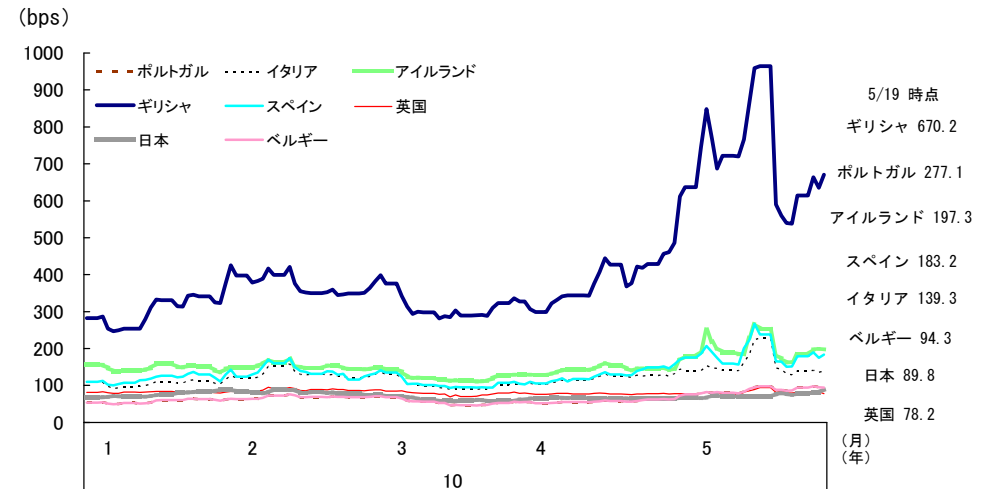
(備考) ユーロスタットより作成。

○ギリシャの失業率



(備考) 1. ギリシャ政府統計局より。
2. 数値は、原数値(季節調整値ではない)。

○ソブリンCDS(先進国でソブリンCDSの高い上位8か国)



(備考) ブルームバーグより作成。